

実際に震火を体験した人の話を
聞けて良かったです。地震はいつきとも
あかしくないし、とても怖いものだと改
めて知りました。やっぱり地しんに、そな
えるのが大切だと考えました。これから
も地震について深々と考えていき
たいです。今回は物ぞいあがも来てくだ
さり、ありがとうございました。

この話をきいて記者は命がけ
で仕事をしているところか
あると分かった。

地震辰についてとくても色々なことが分かった。例えば、なぜ阪神あわじ大震災災という名前前になつたのか。またどこに原因となるプレートがあるのか。そしてそれらを新聞にする新聞会社に勤めてらっしゃる方々の大変さ。そして新聞の大変さをも改めて思い知りました。

しんせい当時の出来事や神戸新聞がでま
るままでのことを教えてくださりあ
りがとうございました。若い記者が
火事になった現場をしゅざいしたことによ
て、若い記者をまいった。もし、火事がなか
たら今生まていないなど話してくれた当
時の出来事を知れて、とても勉強に
なりました。母や父、弟に当時の出来事
を伝えます。

新聞記者は大変な仕事なんだな
と知りました。当仁に起きた阪神淡
路大震災でもたてものごとおれ
ている写真集をとりたりますのことが
すげーいなと思いました。地震や
災害はいの起きているかわらない
からすげーにかげにエス写真集
をとったりするのいいですねと思
いました。

新聞記者は、記事を書かずに、たまたまにかけた
日があり、地雨辰がなると、フー人た
にいいことも、たんだも思へた。阪神
路大しんさこのとは、水にしくにこま
ていた。記事がかけないくらい大じしん
たよあかた。一月の日は、あすあては、
いけない日。とてまこあ。記者は、ま
のすじい、記事をかとのがたいへんとかうた。

おらたはて新田平井の話を
しつとちがおそろしいもの
だと思はれおそろしいもの
うけやがたのはなほきき
かんしんがわした。